

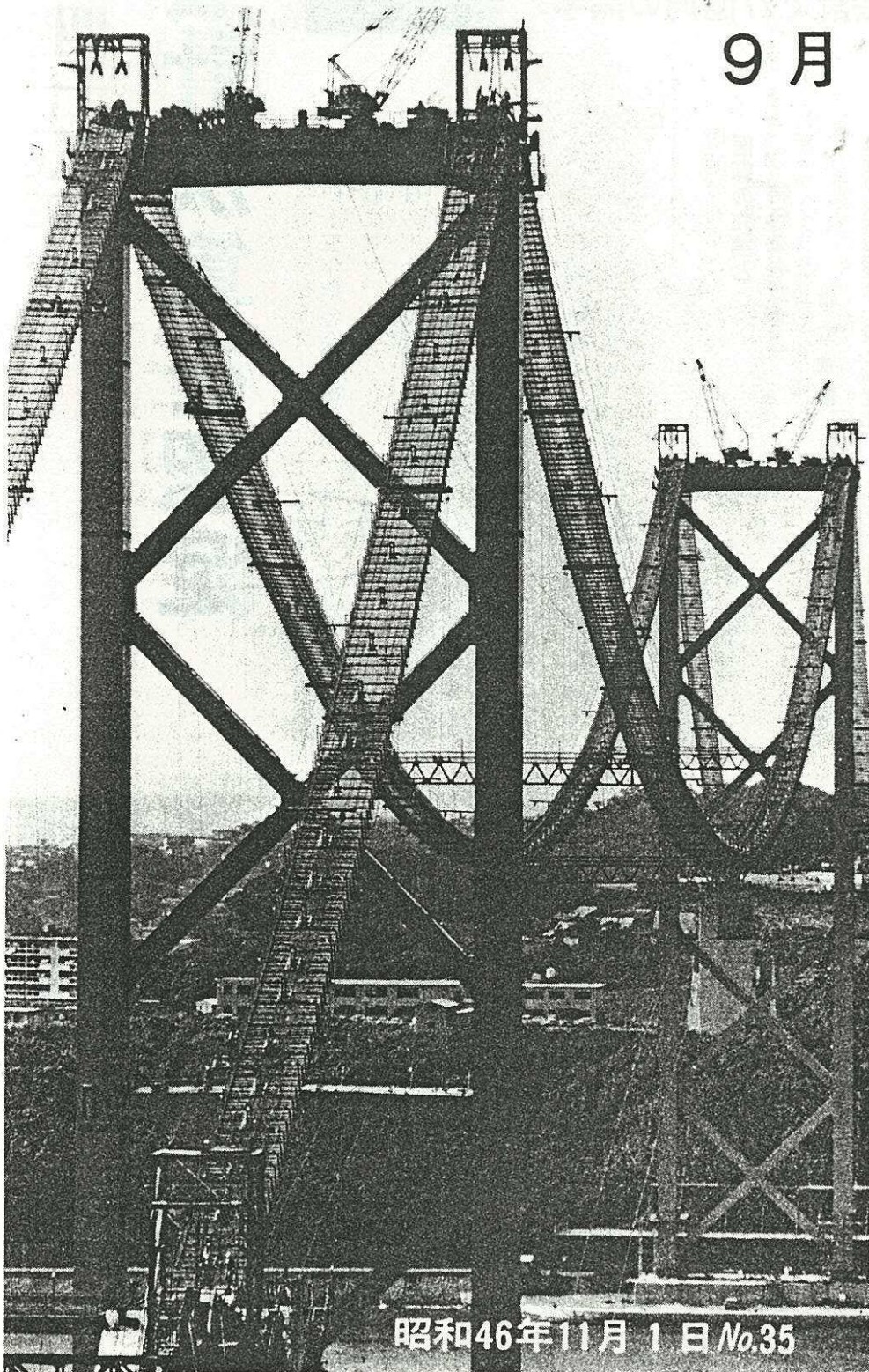
## 9月 定例会

九月二十九日から十五日間の会期で開かれましたが、議事の都合で会期を二日延長し、十月十五日に終わりました。審議された議案は、四十五年度決算をはじめ、四十六年度補正予算、条例の改正、人事議案および議員提案による公害防止条例、意見書など七十二件と諮問四件です。

これらのうち、人事議案、意見書など十一件は即決さ

れましたが、決算関係議案は決算特別委員会で、その他の議案は常任委員会で、それぞれ審議されたのち、六十八件を可決、四件は否決されました。

また、諮問についても支障ない旨回答することになりました。なお、北九州市および各区選挙管理委員ならびに同補充員の選挙、北九州港管理組合議会議員の補欠選挙も行なわれました。



昭和46年11月1日 No.35

建設が進む関門架橋



# 昭和四十五年度

# 各会計決算を認定

## 総決算額

### (歳出) 1,236億4,170万円

#### 一般会計で27億円の黒字

昭和四十五年度各会計決算が、九月二十九日の本会議に上程されました。

この日の本会議では、四人の議員が、議案について質疑を行なったのち議員全員で構成する決算特別委員会を設けてくわしく審議することに決めました。

委員会では、五日間にわたり収支が正しく行なわれているか、また行政の効果などについて慎重に審議したのち、次の要望を付して決算は、いずれも正当なものと認めました。

#### 医師の充実と

#### 特色をもたせよ

#### 市立病院

最近の医療需要は一段と高度化能率化を要求されているが、特  
にその中で市立病院は、民間医療機関が果たし得ない高度の医療を分担すべき役割をになっている。

現在小倉、若松病院のリハビリテーション化、あるいは小倉病院にガンセンターを併設するなど各病院に特色をもたせるよう努力がつけられているが、今後とも各病院の機能の特色と、医師の充実

によって市民の期待にこたえるよう努力すること。

#### 入居者に早めに説明を

#### 市営住宅建替計画

住宅の高度利用の面から、老朽市営住宅の建替えが進められているが、入居者の現在の環境に対する愛着、移転後の環境変化に対する不安、さらに家賃の値上り等を心配して、一部に反対の声が聞かれるので、入居者に対し、建替え年次と、これに関する方針を早めに説明し、不安解消に努めること。

#### 援護施設の充実と

#### 就職対策を

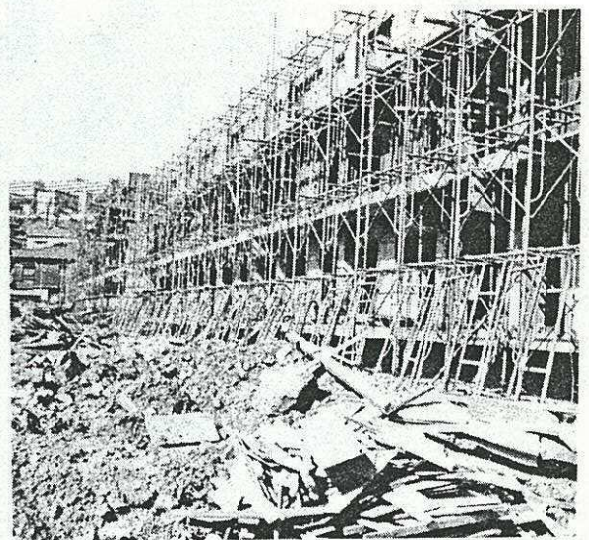
#### 精薄児

特殊学校卒業後の精神薄弱児の就職等の道を開くために、更生援護施設の充実をはかるとともに企業と折衝を行ない就職対策に努力すること。

#### 青少年の

#### 非行化防止を

児童相談所の取扱件数の増加と対象児の年齢低下は、青少年の非行化を示していると考えられるので、健全な青少年の育成をはかるうえから関係当局と密接な連絡



建替中の市営住宅 (戸畑区福柳木)

いを取り、非行化防止に積極的にとりくむこと。

#### 漁業のあり

#### 方について

#### 早急な対策を

舞灘、周防灘の開発に対し、漁民は漁業の将来に大きな不安を持っているので、本市の漁業のあり方などについて早急に対策を立て、的確な指導をすること。

#### 受診率の向上を

#### 市民・老人検診

市民検診と老人健康診査の受診率が、四十四年度に比較してわずかの上昇しかみられないのは、PRの不足や対象者の把握が十分でなかったことによると思われる。このため、市民検診は台帳方式を導入し、対象者の把握と、未受診者に対する再案内等を行ない、また老人健康診査には十分なPRにつとめて受診率を向上し、保健行政の充実と強化のために努力すること。



### モーター対策の強化を

最近、郊外にモーターが相次いで建設され、地域住民に風紀上、教育上好ましくない影響を与えている。  
市は、法に触れない範囲でできる限り許可しない方針とすることで、効果は十分でなく、ますます社会問題化している。

したがって、立地規制と構造、設備基準を一段と強化するため、特別法の制定、旅館業法の改正について国に働きかけること。

### さらに父母負担の解消を

#### 義務教育費

義務教育の父母負担の軽減に対し、努力が続けられているが、補助教材等の購入は、なお父兄に負担をおよぼしている現状である。  
義務教育費公費負担の趣旨にもとづき、今後の検討課題として十分留意すること。

### ごみの収集には

#### 市民の納得と協力を

ポリ袋収集によるステーション方式は、モデル地区を設定し、その実績調査結果にもとづいて行なわれたが、一部市民の反対意見も聞かれるので、実績をみて、アン

ケート調査等を行ないポリ袋の規格、あるいは配布枚数などについて改善をはかり、市民の納得と協力が得られるよう、つとめること。

また、市場および中小企業等から排出される廃棄物の収集基準についても明確にすること。

### 常備消防体制の充実をはかれ

本市の消防力は、機械力の面においては、ほぼ満足すべき状態であるが、常備の消防職員数は国の基準に対し、三五・八パーセントという状況である。

将来の本市消防力は、常備消防を主体とした消防体制によってまかなわれるべきであり、これがため今後著所を計画的に配置する中で、これに見合う人員の増強をはかること。

### 生活困窮者に

#### 適切な措置を

#### 下水道問題

現在、下水道の布設が促進されているが、下水道法によると、処理区域内は三年以内に水洗便所に造りかえる義務がなされている。

しかしながら、生活困窮者には直接に影響する問題であり、経済的に何らかの措置が必要であると思われるので、早急に対策をたて

ること。

また水圧の低い地域は、水洗化しても使用できないことも考えられるので、水道管の取り替えなどの措置をすること。

### かんがい用溜池の

#### 防災対策を

農村部の急激な市街化に伴い、使用目的を失なったかんがい用溜池が住宅地に点在しているのを見受けるが、これを放置することは危険であるので、早急に調査を行ない適切な措置をすること。

### 公害防止に

#### より強力な行政を

公害行政については、大気汚染観測局の増設やオキシダント自動測定器の設置等、監視体制の充実がみられるが、昭和四十四年度から実施された産業公害総合事前調査結果も出され、また法にもとづく公害防止計画を定める時期にきており、より強力な行政が求められているところである。

公害の現象と対策が各分野にわたっており、公害対策局のみでは対応できないので、各局とも緊密な連携をとり万全を期すこと。

また、環境基準達成のための具体的な計画を立て、上乘せ基準も県と十分に協議をし、発生源に対してはきびしい規制をすること。

## 決算の概要

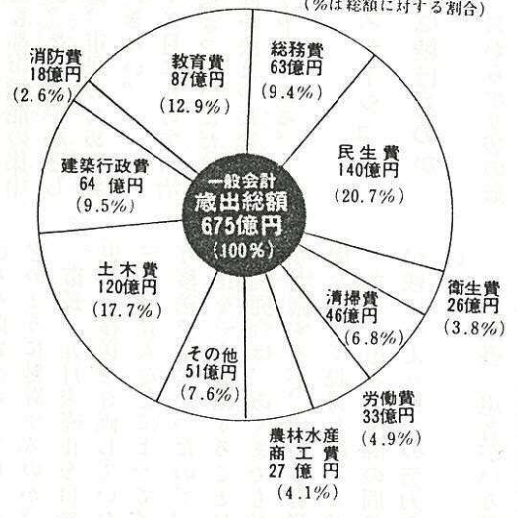
### ■一般・特別会計

一般会計の決算額は、歳入706億4,131万円、歳出675億5,762万円で、差し引き30億8,369万円の黒字となっています。また、国民健康保険特別会計など19会計の歳入合計は、427億908万円、歳出合計411億7,235万円で15億3,673万円の黒字となっています。  
両会計を合わせると、46億2,042万円の黒字となりますが、翌年度に繰り越す財源などを差し引くと、実質的には、両会計で42億4,115万円の黒字となっています。

### ■企業会計

工業用水道事業を除く上水道、交通および病院の3企業は、財政再建計画で体質改善を図っていますが、上水道事業が本年度で不良債務を解消したほか、いずれも計画どおりに進んでいます。  
上水道事業—総収益40億9,197万円、総費用36億7,497万円で、差し引き4億1,700万円の利益を生じました。  
このため、前年度末の不良債務を全部解消し、42年度から始まった再建計画も、一年早く終わりました。  
交通事業会計—総収益11億16万円、総費用8億8,953万円で、差し引き2億1,063万円の利益を生じました。  
このため、前年度末の不良債務を2億3,127万円解消し、残りは7億5,886万円となりました。  
病院事業会計—総収益36億7,226万円、総費用37億7,096万円で、差し引き9,870万円の欠損を生じましたが、前年度末の不良債務を5,043万円解消し、残りは16億1,123万円となっています。  
工業用水道事業—総収益5億9,531万円、総費用5億8,721万円で、差し引き810万円の利益を生じています。

一般会計の費目別歳出状況 (％は総額に対する割合)







# 質疑 応答

九月二十九日から三日間、市政全般についての質問が本会議で行なわれました。以下、市民生活に  
関係の深いものから取り上げました。

## ドルシヨックによる

### 不況対策を

議員 今回のドルシヨックによって北九州市経済界もかなりの影響を受けている。

すでに大手企業の新規採用の中止、中小企業の人員削減などがおきており、このようなきびしい情勢の中で景気刺激対策が講じられているものの、不況が長期化している場合、商工業の振興にあてるための中小企業融資預託金制度で市内中小企業の不況対策は十分なのか。

市長 ドルシヨックにより、北九州市経済界が受ける直接的な影響は今のところあまりない。

ただ、中小企業の中には将来に對する不安感があり、運転資金を必要とする企業も多いので、中小企業のための預託金一億円を追加し、融資のワクを拡大した。

一応これで十分だと考えている

が、不足する場合は緊急な措置をとりたい。今後の景気の動向を見きわめながら資金援助、指導に万全を期したい。

### 老人対策の強化を

議員 老人の生活はきびしいものがあり、安心して暮らせる生活の保障が必要であると思う。

このことから七十才以上の老人の医療費無料化に対する所得制限をなくすとともに、現行の敬老年金を増額する考えはないか。  
また、特別養護老人ホームは現在、法人経営の二か所だけという実情から、寝たきり老人のための市立ホームを今後建設する考えはないか。

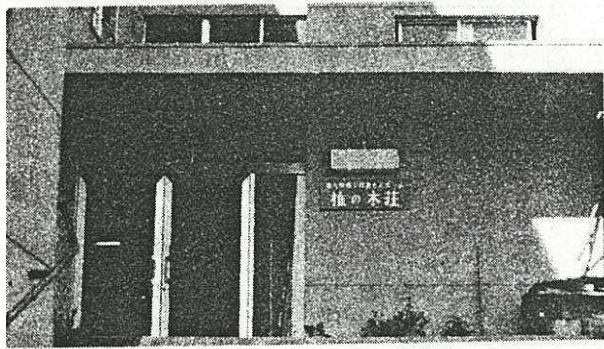
さらに、働きたい老人のため、その能力と希望に応じた職を積極的に開発していく考えはないか。

市長 医療費の無料化は、国民健康保険以外の被保険者にも拡大することがまず先決であり、国民健康保険被保険者に限ってのみ、所得制限をなくすことは、市全体の福祉行政のバランスからできません。

敬老年金の増額、範囲の拡大は今後、物価の状況ともならみあわせて考えていきたい。

特別養護老人ホームは、本年度一施設(定員五〇人)への補助によって定員は二百人となる。施設の建設は、今後検討していきたい。

また、適職の開発については景気後退が心配であるが、老人のための職業無料紹介所の実績が四十四年度一八九件、四十五年度二七



市立軽費老人ホーム「榎の木荘」

八件となっており、さらに相談業務の向上につとめたい。

### 行政区再編成について

#### 市民にPRを

議員 行政区再編成は、四十八年度をめどとして具体的な準備が進められているが、市民にとって、分割された区がどのような機能が発揮し、市民サービスにつながるかが問題である。

そのためには具体的な青写真を早く市民に知らせる必要がある。近く市民との懇談会が開かれると聞いているが、具体的方針を市民にいつ示すのか。

市長 行政区再編成にあたっては新しい区にどのような都市的機能を充実させるかが問題である。区役所の位置も都市機能の集中した地点を選び、そこを中心とした交通網の整備、市民のための施設を整備していきたい。

十一月から十二月にかけて自治連合会などで集まっていただけでは、議会の意向が決まった範囲で市民と話し合う予定である。

### ごみ収集のステーション

#### 方式は続けるのか

議員 十月一日からポリ袋の無料配付によるごみのステーション方式が実施されたが、一部に反対

運動がおこっているとき、ステーション方式によるごみ収集をそのまま続けるつもりか。

市長 清掃事業は市民の協力がなければ円滑な処理ができない。モデル地区に実施した結果好評だったので今回踏みきったものであり、この方法は先進都市でもほとんど実施している。

一部に反対されているところがあるが、これらの人々に対してはあくまでも説得しながら、当初の方針どおりおこないたい。

### 第二松寿園の現状を

#### どうするのか

議員 第二松寿園の統廃合に際し、患者の転退院拒否など、いろいろな問題がおきているが、今後どのように処置するのか。

市長 九月末廃止を目標として患者の移送を計画していたが、第三者の介入などによって予定どおり移送できなかったため、九月末廃止を一応延期することにした。

統廃合は、あくまでも計画どおり実施するが、患者の移送は、時間をかけて説得し終わらせたい。また、患者と医師の間に不信感が残らぬよう最大努力を続けたい。

病院局長 患者がいる限り、第二松寿園の医療体制は続けていく予定である。



# 都市公園と

## 緑化対策の促進を

**議員** 近代都市にとって、都市公園と緑化は不可欠であり市民の要求も強いものがある。県知事も北九州中央公園、紫川上流の河川公園建設などを北九州市と相談して進めたいとのべているが、将来の見通しや、公園、緑化対策について伺いたい。

**市長** 四十五年度における都市公園の面積は、指定都市の中では一番広い（一人当り三・一三平方メートル）が、中期計画では、さ



中央公園予定の中央緑地帯

らにふやす予定である。

北九州中央公園は、現在市と県で予定地の整備をしているが、北九州市のセントラルパークとしての面目を備えたりつばな公園にしたいと考えている。

紫川上流の河川公園についても、まだ具体的な計画はできていないが、県の計画に合わせて対策を講じたい。

そのほか平尾台、皿倉山についても昨年自然休養林を設定し、約

六億円の予算で林道の整備をするともに、付近にキャンプ場などを作る計画である。また自然休養林、平尾台、足立山、風師山を含めた地域を、国定公園にするため現在関係方面に折衝中であり、今年中に指定を受けられるよう努力している。

### 水洗化助成金 などの増額を

**議員** 四十二年度から始まった下水道事業五年計画は本年度で終わるが、目標である普及率三

るのか。  
さらに現在実施中の水洗便所助成金（六千円）および水洗便所改造資金貸付金の額（十万円）、償還期間（三年）、利子（年三分）を改正する考えはないか。

**市長** 計画は予定どおり達成でき

る。水洗化の助成金の額は、来年度予算編成の段階で検討したい。助成金以外の貸付金などについてはいまのところ改正する考えはない。

### 四十八年度までに 達成できるか

#### 大気汚染の環境基準

**議員** 大気汚染の環境基準を昭和四十八年度までに達成することだが、科学的な裏づけがあるのか。

また、公害による被害者の救済について、市独自の条例によって救済する考えはないか。

**市長** 先般通産省が、市と企業側に示した産業公害総合事前調査結果がでた。各企業の将来計画によって風洞実験したこの調査では、大気汚染の環境基準は昭和五十年を目標にして作られている。しかし、これを昭和四十八年度に引き直しても十分に環境基準の達成ができることがわかったので、それによってできるだけ早く各企業と公害防止協定を結び、昭

和四十八年度までに硫酸酸化物による大気汚染を、基準内にとどめるよう現在作業を進めている。

また、公害による被害者救済については、国の法律の適用を受け、適用外に努力しており、適用外については市独自の制度は考えていない。

### 市立八幡病院の増改築を

**議員** 市立八幡病院は、他の市立病院に比べ建物、設備とも十分とはいえない。一時廃止するといいうわさがあったが、患者数は増加しており、内容の充実とともに増改築をする考えはないか。

また、老人のための病棟を設置する考えはないか。

**市長** 八幡病院を廃止する考えはない。

増改築は、病院経営が苦しい状態なのですぐにはできないが、内

### めかり公園の総合開発を急げ

**議員** 関門架橋の建設にともな

い、めかり公園の総合開発が計画されているが、具体的な実施計画はどうなっているのか。

**市長** めかりの総合開発は、関門架橋の開通と前後して十四億円を投資し、中期計画の中で実現す



市立八幡病院

容を充実し市民が安心して治療ができる病院にしていきたい。  
**病院局長** 老人病棟は、現在の一階に老人のための混合病棟を設置したいと考えており、現在検討中である。

る予定である。

工事のため、山をけずり樹木を伐採しており、これができるだけもとのようにし、緑の多いめかりにしなければならぬと考えている。このため道路公園とも具体的な折衝をしたいと考えている。



### 防災対策と指導體制

#### の確立を

議員 宅地造成等による防災上の危険か所は、市内で七十六か所もあると聞いているが、対策が遅れたため、過去に大きな災害をもたらした市民生活に不安を与えている。

特に民有地の防災対策が十分でないように思われるが、これらを含めた危険か所の防災対策はどうなっているのか。

②宅地造成は年々増え続けているが、これの指導にあたる市の態勢が十分でないように思われるが、現体制で適切な指導ができるのか。

市長 毎年災害時期に防災会議を開き対策を講じている。

私有地で、相当古くから造成されているか所には十分に手がとどいていない面もあるが、市民の訴えがあった場所は警戒体勢をとっている。

ただ、私有地に市が直接手を付けることは法的に制約されるので、所有者に行政指導をおこなう。

防災予算を拡大し、また危険か所を再点検し万全をつくりたい。

②宅地造成指導は、機動的におこなうことで成果をあげている。今後、スタッフと機動力の充実により遺憾のないようにしたい。



防 災 箇 所

### 具体策をたてよ

日炭問題

議員 日炭の閉山にともなう諸問題は緊急課題である。

当局も真剣に取り組むといったが、具体的にどのような対策を講じてきたのか。

さらに、閉山処理について今後どのように対処するのか。

市長 離職者対策については、職業安定所と十分に連絡をとるとともに、業界に対しては商工会議所、雇用促進協議会などの機関を通じ炭坑離職者を採用するよう働きかけている。

閉山にからむ全般的な対策は、財産関係がはっきりしたうえで積極的に乗り出すつもりである。

また、今後の再開発については市で計画を立て通産局に申し入れる予定である。

### 駐車場の建設

#### 促進を

黒崎駅前

議員 黒崎駅付近の駐車場については、場所の問題などで建設が行きづまっていると聞いているが、市が早急に適地を選定し建設を急ぐ必要がある。

現在どのようなになっているのか。

市長 駐車場については、長浦公園の一部に建設する予定で予算化し計画を進めていたが、地元の強い反対があり、その後何度か関係者と話し合ったが、了解を得られないので建設が行きづまっている。

最悪の場合は他の候補地を見つけてなければならぬと考えている。

### 再検討してはどうか

市の委託業務

議員 市行政の中で、年々委託業務が増大しているが、特別の場合を除き直営方式で実施し、市として責任ある行政の執行体制をとるべきである。今後増やすと聞いているが委託業務を再検討する

考えはないか。

市長 委託業務をふやすことは私の方針である。しかしこれは、市が直接やるよりもその方が効果があるということをも十分に考えてやっている。

委託できるものできないものとは、おのずから限界があり、また委託したからといって行政の責任まで委託するものではない。

### 運動場の緑化と

#### 声のライブラリー設置を

議員 中島小学校ほか二校に実施されている運動場の緑化は、公

害防止の面からも非常な効果をあげているが今後ふやしていく考えはないか。

②声のライブラリーを設置する考えはないか。

市長 現在試験的に実施しているが、いずれも好評なので、今後の計画的にふやしていきたい。

②中期計画で建設を予定している中央図書館は、いろいろな機能をそろえた図書館にしたいと考えており、声のライブラリーも計画の中に盛り込みたい。

なお中央図書館には、そのほか点字図書館も予定している。

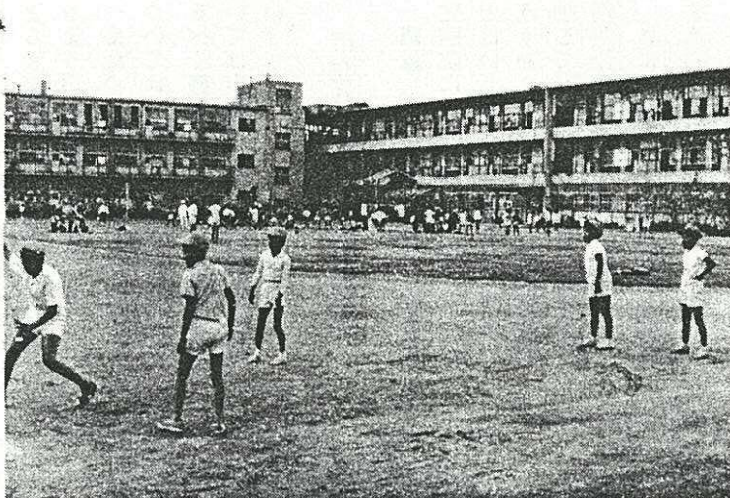
### 高等部設置を

小倉養護学校

### 緑化された中島小学校 (小倉区)

議員 小倉養護学校に、中学校を卒業してもただちに社会復帰の出来ない人のために、技能養成などを目的とした高等部を設置する考えはないか。

市長 高等部設置は、父兄からも強い要望があっているので、学校関係者ともよく相談し、前向きな姿勢で考えたい。





# 常任委員会から

各常任委員会は、十月九日から三日間にわたって、市長提案による四十六年度一般会計・特別会計補正予算、公害防止条例など三十五議案、および議員提案による一議案を審議しました。

特に、公害衛生委員会では、市長提案の公害防止条例案に対して、議員提案による公害防止条例案、さらに被害者救済規定を設ける修正案などをめぐって活発な論議がかわされましたが、慎重に審議の結果、市長提案が可決されました。そのほかの議案についても、次のような要望事項を付していずれも原案のとおり可決されました。

## 増額と範囲

### の拡大を

#### 消防賞じゅつ金

北九州市消防賞じゅつ金条例の一部改正が提案されました。

経済消防委員会では、従来授与の対象外とされていた災害現場へ出場途上の災害にも、授与の対象となったことは、日夜第一線で市民の財産と生命を守るため、身の危険をおかして働いている消防職員等の志気を一段と高めるものと確信するが、金額については、制度上の規定額とはいえず、社会一般の通念からみると必ずしも満足した額と思われぬ面があるので、社会情勢に対応して今後とも検討するよう要望しました。また、消

## 住民の要望意見を

### 十分に考慮せよ

#### 北九州都市高速道路

市道路線の整備を図るため、北九州都市高速道路1号、2号、3号路線の認定を求めるとの議案が提案されました。

建設交通委員会では、路線は公告縦覧など法律上の手続きはとられているとしても、地元には、事前に十分に納得のいく説明、あるいは計画変更についても考慮すべきではないか、などの論議がかわされました。

当局から、計画変更は当初計画

で予想していない事態が生じた場合以外は、委員会で、今後関係住民に対し計画の周知徹底を図るとともに、住民の要望意見についても十分考慮の上、作業を進められるよう、要望しました。

## 私道についても

### 十分な配慮を

#### 下水道の布設

現在五か年計画によって、市内各所で下水道の布設が進められておりますが、建設交通委員会では、私道については、幅員等の問題で布設がとれている所もあるため、地元の状況等を十分に考慮して実施されるよう要望しました。

## 補正予算の概要

### ■一般会計

公共事業に十六億七千万円を計上、主なものとして道路橋りょうの整備二億九千万円、街路事業四億九千万円、高層公営住宅建設六億六千万円、公園整備七千万円。

市独自の事業として六億五千万円を計上。道路橋りょう、河川、公園整備一億一千万円、そのほか南小倉木町踏切立体交差用地、堀川ポンプ場建設用地、的場池、迫田公園用地、若園地区保育所建設用地の取得。

また、中小企業の長期需用資金確保のため預託金を一億円追加、本年度から国の制度として実施される児童手当として四千八百万円、小児ガン患者治療費扶助二百十万円、災害復旧事業一億八千万円。

なお、勤労者会館、総合体育館建設のため、三か年の継続事業として予算を計上、四十八年度完成予定。

### ■特別会計

下水道事業の維持管理四億六千万円のほか、幹線街路建設関係事業、と畜場施設、国民宿舎施設の整備など。

## 決議・意見書

6月定例会および9月定例会で、次の決議・意見書が可決されました。

- 日中国交回復ならびに貿易促進に関する決議
  - 日炭閉山による若松地区の鉱害復旧と開発に関する意見書
  - 特定地域開発就労事業の地域指定に関する意見書
- (以上6月定例会)
- 小倉区幹線道路交通規制に伴う改善措置に関する決議
  - モーテル立地規制等の強化に関する意見書
  - タクシー料金値上げ申請反対に関する決議
  - 沖縄返還協定に関する意見書
- (以上9月定例会)

## 九月定例会で決まったおもなもの

- ▽四十五年度一般会計決算の認定
- ▽四十五年度普通特別会計決算の認定(十九会計)
- ▽四十五年度企業会計決算の認定(四会計)
- ▽四十六年度補正予算  
一般会計への追加  
三十一億八千三百八千円  
普通特別会計への追加  
十四億九千五百六十五万一千円
- ▽北九州市公害防止条例  
公害関係法等の改正にともない、現行防止条例を全部改正するもの。
- ▽北九州市消防賞じゅつ金条例の一部改正  
消防職員及び団員に対する賞じゅつ金授与の範囲を、災害出場の事故にも授与できるように改正
- ▽土地の取得  
新中央卸売市場建設用地として小倉区西港町の土地二十一万平方メートルを買い入れるもの
- ▽市道路線の認定  
市道路線の整備を図るため北九州都市高速道路1・2・3号路線を認定するもの
- ▽福岡北九州高速道路公社設立  
道路交通の混雑緩和のため、福岡県、福岡市および北九州市が設立団体となって、指定都市高速道路の新設、維持、修繕などを効率的におこなうため公社を設立するもの。



### 議員の表彰

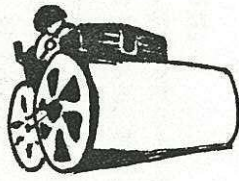
さる6月24日、全国市議会議長会から、次のかたがたが永年勤続議員として表彰されました。

市議会では6月定例会に先だち、表彰状の伝達が行なわれました。

議員在職二十年以上特別表彰		(議席順)	
松尾	重田	松本	権堂
武議員	吉議員	夫議員	幸議員
正副議長在職四年以上表彰			
大庭	河内	佐々木	大庭
勇議員	一議員	亀議員	勇議員

## 請願と

## 陳情



### 請願

- 小石保育所の運動場拡張等について
- 黒崎保育所の保母採用について
- 学童保育所設置について
- ひまわり学園通園バスについて
- 通園バス設備改善について
- 身障者会館等の建設について
- ひまわり学園退園後の対策について
- 老人敬老年金の増額等について
- 六十五才以上老人の敬老年金支給について
- 高令者就労対策について
- 七十才以上老人の医療費全額無料について
- 老人医療費の無料化について
- 七十才以上老人の医療費無料化について
- 六十才以上老人の医療費無料化について
- ひまわり学園の設備改善について
- 保育所設置について(小倉区中島校区)
- 老人健康診査について
- 消防隔日勤務職員に対する衛生管理の改善について
- 消防職員の給食設備の整備について
- 消防職員の通勤手当完全支給について
- 公衆電話ボックスの設置について(八幡区帆柱町)
- 市道拡幅について(門司区花月園)
- 側溝およびガードレール設置について(門司区大里西新町)
- 道路舗装および側溝整備について(小倉区富野十字ヶ丘)

- 道路舗装について(八幡区岸ノ浦)
- 児童公園設置について(戸畑区二枝)
- 側溝改修等について(小倉区富野)
- 公園の拡張整備について(小倉区泉ヶ丘・泉台町)
- ガードレール設置について(八幡区松尾町一丁目二の組)
- 市道認定について(小倉区泉ヶ丘町)
- ガードフェンス設置について(八幡区金剛大谷団地)
- 川床整備等について(八幡区永犬丸金山川)
- 橋の危険防護施設設置について(八幡区永犬丸里中町)
- 下水溝整備について(門司区吉志)
- 失対事業各現場の婦人更衣室設置について
- 失業対策事業現場の作業管理人の適正配置について(小倉区中吉田)
- 市営住宅の入居資格の緩和について
- 徳力小学校々舎改築ならびに校地拡張について
- 上津役中学校の校舎建築について
- 老朽校舎の改築等について(八幡区上津役小学校)
- 建築申請許可等について(八幡区西川頭一丁目)
- 花尾中学校水道施設の改善について
- ガードレール設置について(小倉区津)
- カーブミラー設置について(小倉区津)
- 道路舗装について(八幡区香月唐熊)
- 排水溝設置について(八幡区大字野面字山浦)
- 市道認定について(八幡区町上津役)
- ガードレール設置等について(小倉区高坊千草町)
- 道路舗装について(小倉区高坊千草町)
- ふん尿汲取車置場の住宅地外指定について(小倉区水町)
- 防犯灯設置について(若松区古前町)
- 消防署出張所の新設について(八幡区馬場山)
- 消火貯水槽設置について(若松区宮前町)
- 総合中央卸売市場建設促進について
- 競輪開催時の附近住民の通路確保について(門司区不老町)

## 人事の紹介

六月定例会および九月定例会で次のかたがたが決まりました。

北九州港管理組合議会議員		(敬称略)	
松尾	吉尾	松本	花田
武議員	計人	勝憲	武勝
北九州市監査委員			
松本	新木	近松	岩川
夫	井田	資三郎	不二夫
直方市・北九州市岡森用水組合議會議員			
松本	藤田	佐々木	大松
夫	津田	利初	永徳
北九州市選挙管理委員会委員			
藤田	藤田	藤田	藤田
久野	藤田	藤田	藤田
三雄	藤田	藤田	藤田
北九州市固定資産評価審査委員会委員			
藤田	藤田	藤田	藤田
三雄	藤田	藤田	藤田
人権擁護委員候補者			
藤田	藤田	藤田	藤田
海	藤田	藤田	藤田

### 陳情

- 採択されたもの
- 市普通河川条例の制定
- 市立児童福祉施設条例の一部改正

### 六月定例会で決まったおもなもの

- ▽市立軽費老人ホーム条例の一部改正
  - 戸畑区に、軽費老人ホーム「椎ノ木荘」を新設するもの
- ▽市立地方改善施設条例の一部改正
  - 市立小倉山田本町集会所を追加設置するもの
- ▽市立児童福祉施設条例の一部改正
  - 若松区に、精神薄弱児収容施設「小池学園」を新設するもの
- ▽市普通河川条例の制定
  - 河川の管理が適正に行なわれるよう、新たに条例を定めるもの

### 常任委員の所属変更

- 九月定例会で、次のように常任委員会委員の所属変更がありました。
- ( )内は前
- 総務財政委員 増田 哲夫 (民生水道委員)
- 民生水道委員 坂田シゲヨ (文教建築委員)
- 民生水道委員 城戸 武夫 (総務財政委員)
- 文教建築委員 加来 茂 (民生水道委員)